


## 公民館事業の紹介(公民館訪問より)



東部教育事務所 生涯学習係

東部教育事務所では、管内の公民館等社会教育施設の機能の充実と社会教育の振興・充実に向け、社会教育主事による公民館等訪問を実施しています。今年度は、地域と学校の連携・協働に関する地域学校協働活動についての情報交換や、コロナ禍の中でも、日ごろの事業を感染防止対策を講じたうえで実施されている様子等を視察させていただきました。また、職員の方と「学校を核とした地域づくり」や「家庭教育支援」についてなど情報交換・情報提供させていただきました。児童生徒向けの事業は多く実施されており、今後の地域と学校の連携・協働が期待されます。また、館長さんをはじめ職員の方々から直接お話を伺うことで、地域や地域住民に対する熱い思いを十分に感じることができました。事業視察では、講師の先生や参加された方々の声を直接聞くことができ、地域の実情やニーズ等を踏まえた特色ある事業が展開されていることがわかりました。

次に、各公民館の事業について御紹介いたします。

<p style="text-align: center;"><b>城沼公民館</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>三野谷公民館</b></p>
<p style="text-align: center;">親子ポスター教室</p>	<p style="text-align: center;">稲刈り(第七小学校との地域学校協働活動)</p>
	
<p>・アトリエ・レガエロ(絵画造形教室)から講師を招聘していた。親子(父と娘)で講師を務めていた。娘さんは、二小のOGであった。参加者は、小学校低学年から高学年までの児童とその保護者。ポスターの描き方や色の塗り方、補色の関係など具体的な技法について学ぶことができていた。</p>	<p>・世代間交流事業であり、地域の区長さんや栄寿会の皆さんが中心となり、第七小学校の5年生児童が稲刈り体験を行った。児童一人ひとりが鎌を持ち地域の方と稲刈りを行った。例年は、家庭科の授業でおにぎりを握っていたが、今年度はお米を児童に持ち帰ってもらうなどのプレゼントを考えている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>高島公民館</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>新里公民館</b></p>
<p style="text-align: center;">高島子ども八木節教室</p>	<p style="text-align: center;">新里福寿大学(高齢者学級)</p>
	
<p>・指導者は、教員OB、OG、元PTA役員、商工会八木節経験者の方が、高島地区に伝わる伝統的な八木節を後世に伝えるために小学生を対象に実施している。経験者の中学生もお手伝いに来てくれている。特徴的な踊りが印象的であった。小学校の運動会などで披露されている。</p>	<p>・新里福寿大学(高齢者学級)はコロナの影響で、通常であれば全10回であるが、今回は5回の開催を予定としている。募集は、50名程度で実施されている。桐生市にある大川美術館の学芸員を講師に招き、大川美術館の歴史について学ぶ時間となっていた。</p>

<p style="text-align: center;"><b>桜木公民館</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>川内公民館</b></p>
<p style="text-align: center;">クリスマスお菓子作り教室</p>	<p style="text-align: center;">くるくる変身キューブ</p>
	
<p>・講師は、地域で農業を行っている方で、子ども達と楽しそうに、お母さん目線でマフィンや、野菜の粉を振りかけるポップコーンを作っていた。人気のある教室だが、今回はコロナ禍のため人数制限があった。子ども達は、班で協力してお菓子作りに取り組んでいた。</p>	<p>・各公民館の工作教室では、とても人気の講師さんが、独自の題材を準備し、子ども達と工作を行った。高学年から低学年までの児童が参加していた。教室の最後には、地域で子ども達の成長を見守る青少愛の代表の方から参加者全員にクリスマスプレゼントが贈られた。子ども達は、サプライズを喜んでいた。</p>

<p style="text-align: center;"><b>尾島生涯学習センター</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>桜木西公民館</b></p>
<p style="text-align: center;">初めての太極拳</p>	<p style="text-align: center;">鉱物石けんづくり</p>
	
<p>・初めての太極拳を参加者10名程度で実施されていた。講師の動きを参加者は、丁寧にまねていた。微妙な体重移動や、手足をゆっくりと動かす特徴的な太極拳の動きは、参加者の体に堪えているように感じた。心と体の良いバランスの必要性を感じた講座であった。</p>	<p>・近隣の小学校低学年の児童が中心に参加していた。レンジを使い、石けんを溶かし、いろいろな色の食紅を混ぜ、固めて世界に一つの石けんを作る。公民館主事が講師となり、行っていた。青や緑の食紅は珍しく、子ども達は色を混ぜたりしながら、いろいろな石けんづくりに挑戦していた。</p>